

特集

他団体と連携するクラブ



NPO法人吉井スポレククラブ ＜岡山県赤磐市＞



総合型クラブが地域に定着し、浸透するためには、地域との一体感の醸成が重要となります。そのためには、地域社会からの信頼性を確保し、地域の各種機関・団体との相互補助の関係を築くことが必要となってきます。

そこで今回は、地域の各種団体と連携し、活動を行っている総合型クラブを紹介します。



1. クラブ所在地域にスポーツ団体が無く、
会議で出会った環太平洋大学の先生に相談し連携が始まる
2. 大学生のボランティア参画により、スタッフ不足が解消
大学生にとっても貴重な体験
3. 大学との距離があり学生の送迎に苦心
→大学側の協力で大学のバスを配車してもらう

① クラブ概要

平成22年に総合型地域スポーツクラブ「吉井スポレククラブ」設立準備委員会を発足し、翌23年に設立総会を開催。平成25年7月にはNPO法人になるための設立総会を開催後、同年10月にNPO法人が設立されました。クラブの運営委員は、平成21年5月より地域のPTA・スポ少、体育指導委員等の代表者から集めました。

クラブの理念は、「だれでも、どこでも、いつでも、いつまでも」をスローガンに、スポーツに親しむことにより地域みなさんの生きがい、健康、仲間づくり、青少年の健全育成、明るく活気ある街づくりを目指すことです。

現在の活動状況としては、イベント(サマーフェスティバル、サイクリング大会等)の他にヨガ、ズンバ、太極拳、水中ウォーキング等様々な教室を実施しています。

2 環太平洋大学との連携を機に 指導者派遣事業につながる

IPU環太平洋大学でレクリエーション系の科目を担当されていた先生と総合型クラブの会議でお会いし、クラブや事業・イベント等について話をする中で、当クラブがある地域にはスポーツ団体等が無いので、大学から指導者を派遣してもらえないか相談し、県体協からの支援を受け、派遣事業として、連携をするようになりました。

3 サマーウィーク等の事業に大学生が ボランティアスタッフとして参加

「サマーウィーク」

・大学との連携事業として夏休みに実施

8月下旬の5日間に赤磐市吉井B&G海洋センターと小学校を活動場所とし、IPUとの連携事業として「サマーウィーク」を行っています。これはB&G財団から助成金をもらってやっている事業です。具体的な活動内容は、午前中に小学校で夏休みの宿題や予習復習などの勉強をし、午後からは赤磐市吉井B&G海洋センターのプールや体育館を活用し、遊ぶだけでなく、水辺での安全や防災についての学習活動も行っています

参加者は小学1年生～6年生までと幅広く、毎年15～20名ほどの子どもたちが参加してくれています。毎年、大学生もスタッフとして参加いただいており、今年のスタッフは大学生19人、職員1名と地域スタッフ2名の計22人です。大学生は、1人が5日間のうち3日間か2日間参加という形でした。大学生には、子どもたちと体育館やプールで遊んでもらい、勉強も教えてもらっています。また、水辺での安全プログラムや防災プログラムでも手伝ってもらっています。



・学童募集で苦心→小学校の協力で夏休み前に各学級でチラシ配布

サマーウィーク実施にあたり苦心したことは、子どもを集めることです。当クラブがある地域は年々子どもの数が減少傾向にあるため、募集をかけてもなかなか集まらなかったりします。そこで、小学校に協力してもらい、夏休み前には各学級でチラシを配ってもらったり、声掛けをしてもらったりしています。その結果、今年は20名ほどの子どもが参加してくれました。

「サマーフェスティバル」

9月初旬の「サマーフェスティバル」は、地域の人たちとの交流を目的としており、毎年たくさんの方が来てくれているイベントです。IPUの学生にはボランティアスタッフとして進行の補助や屋台のお手伝いをお願いしています。また、ステージイベントにはIPUのダンス部にも出演していただきました。

スタッフ数は、クラブの運営委員・役員とスポ少の保護者合わせて約30名と大学生14名です。サマーウィークにも参加してくれた学生なので、子どもたちがまた会えたことをすごく喜んでくれたのが良かったです。



「サイクリング大会」

10月下旬の「サイクリング大会」は全国各地より500名の方が参加するクラブ最大の事業です。学生スタッフは立ち番として各ポイントに立ち、参加者が楽しく安全に走行できるように努めています。

スタッフ数は、クラブ運営委員・役員とスポ少の保護者、企業スタッフ合わせて約60名と大学生数名です。各ポイントにスタッフを配置しなければならないので、人員の確保が大変でした。

なお、今年は第10回大会でもあり伊原木岡山県知事にもご参加いただき、大いに盛り上がりました。



4 大学との連携で地域に密着した活動に発展

スタッフ不足のため、大学生の力は大きいです。大学と連携することで、より地域に密着した活動ができていると感じています。

また、大学生ボランティアの中には教員を目指している学生も多くおり、「学校へ行く教育実習とはまた違う感じで子どもたちと関わることができるのがいい」と言ってくれたり、他のイベントについても「普段体験できないようなことができたり、地域の人ともたくさん触れ合えるいい機会だ」との感想も出ています。

5 一番苦労したのは大学生の交通手段の確保

大学と連携をするにあたり一番苦労した点は、クラブまでの交通手段の確保です。大学からクラブまでは約30キロも距離があり、車が無いと絶対に来ることはできません。連携し始めたころは、学校の先生やクラブのスタッフで送迎をしていました。

今は、人数も増えたので、大学側からバスを出してもらえるようになりました。

6 大学との連携を密にし、イベントの発展と新たな挑戦を目指す

今後としては、大学との連携をさらに密にしていき、今あるイベントや事業をもっと発展させていくとともに、新たなことにも挑戦していけたらいいなと考えています。

クラブとしては、地域スタッフの人員不足をどうにか改善していきたいと考えています。

(NPO法人吉井スポレククラブ 事務局長 奇峯 正二)

クラブ プロフィール

設立年月日 平成25年10月25日

所在地 岡山県赤磐市草生1番地

運 営 会員数129名(令和元年12月現在)、予算規模200万円(令和元年度)

有給職員 3名

特 徴 NPO法人吉井スポレククラブは、赤磐市における体育・スポーツ活動の普及を図り、市民及び市内在勤者の心身の健全な発達と健康の増進、体力・競技力の向上を目指すとともに、明るく豊かな街づくりに寄与することを目的として活動しています。

連絡先 〒701-2502 岡山県赤磐市草生1番地(赤磐市吉井B&G海洋センター内)
TEL 086-954-2323 FAX 086-954-2424
E-mail info@yoshiisc.net
URL <http://yoshiisc.net/>